

東日本大震災対応（2011年）

塚本 瑞天

はじめに

東日本大震災対応に関して、その背景・経緯等について書くよう依頼があったが、震災は自然現象なので、背景やそこへ至る経緯は全くなく、依頼に応えるのはなかなか難しい点を御理解いただけたらありがたい。なお、手元にある2011年と2012年の行動記録を参考に、当時のことを振り返ってみた。御参考になれば幸いである。

2011年

3月11日（金）、東日本大震災発災、大臣官房政策評価広報課長。政策評価広報課は地方室を抱えていたので、東北地方環境事務所職員の安否確認や国有財産の被災状況把握等を行った。当時は、宮古と大船渡の海岸近くに自然保護官事務所があったので、職員が津波にのみ込まれていないかが気がかりだった。幸いにも全員無事で、環境省の国有財産も大きな被害はなかった。東北地方環境事務所が入居していた仙台地方合同庁舎が被災し、エレベーターが使えない状況がしばらく続いた。

・12日（土）、環境省災害対策本部会合開催。関連情報の共有等が行われた。この会合は、土日を含め25日（金）まで連日開催された。

4月1日（金）、自然環境局自然環境計画課長へ異動。自然環境計画課長は、課の所掌事務に加え自然系技官人事の方向付けも担当していた。震災関係人事では、東日本大震災復興対策本部事務局（後に復興庁）参事官ポスト、主査ポストへの協力、福島県に設置された被災ペット収容施設への出張要員の確保等があった。

復興本部事務局参事官へは中島調査官に行ってもらったこととなったので、調査官業務（自然系技官人事の実務）のうち採用を野生生物課長が、その他を計画課長が分担して担うこととした。主査ポストには、自然環境局の若手に行ってもらった。

被災ペットの対応は、動物愛護室長を先頭に室員全員が奮闘したが、何しろ室員数が少なかったもので、室員だけでは業務を行うことができず、自然環境局の自然系技官全体で出張要員を確保する体制とした。出張者の放射能被ばく線量の管理に注意を払った。

これから半年ほどの東日本大震災対応は、関係人事、2012年度予算要求が主たるものだった。

・25（月）～26（火）、鹿児島出張。鹿児島県庁で出向人事を協議【調査官業務】。

5月24日（火）～29日（日）、小笠原出張（担当専門官同行）【自然環境計画課長業務】。小笠原は、6月に世界自然遺産に登録された。

6月2日（木）、2012年度環境省重点施策を局内で議論。原発事故に伴う放射能の自然環境（いきもの、生態系）への影響を長期間モニタリングすることが必須であることや、東日本大震災が自然環境に及ぼした影響を把握しモニタリングする必要について強調した。

・3日（金）～12日（日）、生物多様性条約第10回締約国会議第2回ビューロー会合出席のため、モントリオールへ出張（担当補佐、係長同行）【自然環境計画課長業務】。

7月7日（木）、2012年度予算要求会計課長説明。東日本大震災と福島原発事故に関連する予算を新たに要求した。

8月26日（金）、京都出張。京都御苑^{ぎょえん}で人事関係相談【調査官業務】。

9月6日（木）、2012年度予算要求財務省主査説明。東日本大震災と福島原発事故に関連する予算を新たに要求した。

10月26日（金）、伊那市出張。伊那市から自然環境計画課への実務研修生受け入れを市長と協議【自然環境計画課長業務】。

11月17日（木）、南川事務次官名で現地対策本部担当に指名された。次官から、東日本大震災復興に関する環境省の現地対策のため毎週仙台へ出張するよう言われたので、渡辺自然環境局長に報告したところ、週に一回日帰りに対応せよとの指示があった。これ以降、2012年8月10日まで、仙台への毎週一回日帰り出張（東北地方環境事務所の鳥居所長の部屋に机があり、朝一番の新幹線で仙台へ行き最終の新幹線で帰京）が続いた。現地対策は、要人対応や会議出席、現地調査等だった。

- ・18日（金）、細野環境大臣訓示。中味は覚えていない。環境省緊急対策本部会合出席。これ以降、毎週金曜日に開催される環境省緊急対策本部会合に都合のつく限り出席した。
- ・21日（月）～22日（火）、仙台出張。22日に西尾元事務次官の石巻視察に同行。
- ・27日（日）～29日（火）、一ノ関、盛岡、仙台及び福島へ出張。27日は平野復興大臣の一ノ関視察に同行。28日は岩手県へ就任あいさつ、29日は仙台市、宮城県、福島県及び環境省福島現地対策本部へそれぞれ就任あいさつ。

12月8日（木）、仙台出張。

- ・14日（水）、仙台出張。仙台湾周辺の現地調査。
- ・22日（木）、仙台出張。
- ・26日（月）、仙台出張。

仙台勤務中は、人事の細かい作業をしていた。

2012年

1月6日（金）、仙台出張。

- ・10日（月）、弁護士会館で開催された民事法研究会震災対応セミナーで環境省の震災対応のうち災害廃棄物の広域処理について講演。
 - ・11日（水）、仙台出張。
 - ・17日（火）、仙台出張。竹本環境省参与の現地視察（石巻、南三陸町）に同行。
 - ・19日（木）～20日（金）、金沢出張。白山国立公園現地調査。石川県庁事務打合せ【自然環境計画課長業務】。
 - ・25日（水）、仙台出張。
 - ・28日（土）、細野環境大臣の現地視察（石巻、蒲生及び仙台）に同行。
- 仙台勤務中は、人事の細かい作業をしていた。

2月6日（月）、仙台出張。

- ・14日（火）、仙台出張。
- ・24日（金）～25日（土）、越前市出張。コウノトリ野生復帰施設見学、コウノトリ関係会議出席【自然環境計画課長業務】。
- ・29日（水）～3月1日（木）、女川及び仙台出張。災害廃棄物処理施設の現地調査。

仙台勤務中は、人事の細かい作業をしていた。

3月15日（木）、女川出張。現場の意見交換会に参加。

・10日（土）、2年前は野生生物課長だった。当時、佐渡の順化ケージ内で訓練中のトキがテンに襲撃される事故が発生し、その対応に当たった。前年の3月11日は政策評価広報課長だった。その間、東日本大震災が発災し、その対応に当たった。二度あることは三度あると言うので、週末に自然環境計画課所掌事務で何か事故が起きるのではないかと覚悟していたのだが、何事もなかったのでホッとした記憶がある。

・29日（木）、仙台出張。

4月11日（水）、仙台出張。

・19日（木）、仙台出張。岐阜県の広域処理見学会に同行。

・22日（日）～23日（月）、宮古出張。陸前高田、碓石海岸及び宮古市の現地調査。

・24（火）～25（水）、札幌出張。人事関係【調査官業務】。

5月8日（火）、仙台出張。

・21日（月）～22日（火）、盛岡・宮古出張。21日は盛岡で岩手県災害廃棄物処理協議会に参加、22日は宮古で仮設焼却場の現地調査。

・28日（月）、2013年度環境省重点施策の局内議論。

6月7日（木）、宮古出張。2次仮置場の現地調査。

・20日（水）、仙台出張。

7月2日（月）、仙台出張。

・6日（金）、2013年度予算要求の会計課長説明。

・12日（木）、仙台出張。

・25日（水）、仙台出張。災害廃棄物処理協議会市町村部会に出席。

8月2日（木）、仙台出張。

・10日（金）、九州地方環境事務所長へ異動。現地対策本部担当の指名解除。

おわりに

以上のように、震災関連業務に加え、自然環境計画課長の通常業務と調査官業務もこなしていたので、結構忙しかったような気がする。東日本大震災対応は、自然災害対応なので、刻々と変化する状況に応じて可能な範囲で迅速に対処することが求められた。レンジャーの皆さんの御協力のおかげで、限られた予算と人員で何とかやりくりできたのではないかと感じている。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

【略歴】

1980年環境庁入庁。大山隠岐、利尻礼文サロベツのレンジャー。環境庁自然保護局、外務省経済協力局、在ケニア日本大使館、鹿児島県庁、環境省地球環境局、自然環境局、大臣官房等に勤務。九州地方環境事務所長、自然環境局長を経て2015年退官。2016年から（一財）休暇村協会常務理事。